

事業計画書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

一般社団法人 北海道ビルヂング協会

これからのビル業界は新型コロナウイルス感染症の経済に与える影響を注視しつつ、ウイズコロナ、ポストコロナを見据えた多様な働き方や生産性向上に対応するオフィス環境が求められている。我が国の力強い成長に資するクリエイティブな成果物を創造する場の提供とより知性的生産性の高いリアルなオフィス空間の提案に努めるとともに、都市の国際競争力強化、安全・防災性能の向上、地球環境問題やデジタル化への対応など様々な課題に的確に対応していかなければならない。

当協会は、今後とも会員各位のビル経営管理の質的向上に努めるとともに、北海道の経済活動を支え、豊かで魅力ある街づくりに貢献するための協会活動を積極的に展開し、都市の健全な発展に寄与したい。

本年度は、とくに次の事業を推進する。

【 政策活動 】

(一社)日本ビルヂング協会連合会、各地方協会との連携を強化し、土地に係る固定資産税の負担調整措置の拡充、都市の低未利用土地対策のための特例措置の延長、建築物に係る多重課税の見直しなどを基本として税制改正要望活動を行っていく。

【 組織活動の強化と広報活動 】

1. 令和3年度末の会員数は、組織強化に努め、前年度末と比較して正会員数は1社増、2社減で59社に、賛助会員は増減なく25社であった。今年度も引続き、正会員・賛助会員の組織強化に努める。
2. 「実務担当者会」などの実務担当者の交流を通じ会員の要望把握に努めるほか、「中小ビル経営研究会」、「青年部会」を充実し、知識向上と育成を図り協会機能の活性化を図る。
3. 地方都市で情報交換会等を実施し、地方会員との連携・強化を図る。
4. 賛助会員におけるビジネス交流会を開催し、賛助会員とも交流を深め活性化を図る。
5. 「事務局だより」を毎月会員に配付して、よりきめ細かく協会の事業活動を広報するとともにビル経営に関する情報提供についても積極的に行う。
6. 会員名簿等を刊行する。
7. 当協会のホームページをさらに充実させて当協会の活動を積極的に外部へ広報する。

【 財政計画 】

1. 令和4年度の収支策定段階では、厳しい収支が見込まれるが、会務運営にあたってはなお一層の工夫をし、諸経費の節約に努めながら健全財政を図るとともに、会員のニーズに対応した諸活動を積極的に推進する。

【 研修・研究活動 】

1. 会員ニーズに対応した例会を適宜実施する。
2. 連合会に協力して「ビル実態調査」を実施し、調査結果をまとめ会員に配付する。
3. ビル経営管理士の知識向上のための研修会等を実施する。
4. 地震対策、地球温暖化対策、節電対策、事業継続計画(BCP)、新型コロナウイルス感染症対策等ビルに関連する各種課題について調査、研究活動を進める。

【(一財)日本ビルディング経営センターの積極的な活用】

1. (一財)日本ビルディング経営センターの実施する「ビル経営管理士」試験の受験者の増大を図るとともに、ビル経営管理士に対する社会的理解の促進を図るための活動を連合会とともに支援する。
2. センターの実施する研修会、講習会等について積極的に推奨する。

【そ の 他】

1. 国および地方公共団体が実施する都市問題施策へ積極的な協力を行う。
2. 北海道の発展という視点で、ビル事業が果たすべき役割を積極的にアピールするとともに地方自治体との協力体制についても検討する。